

建設リサイクルとカーボンニュートラル

建設リサイクルは、建設現場から排出される建設副産物の発生を抑制し、発生した建設副産物を再利用や再生利用により有効活用することである。建設材料やその輸送などサプライチェーンを含めた建設現場における温室効果ガス(GHG)排出量は、CO₂排出量に換算すると、日本で排出量される量の約1割強を占めており、そのうちの多くは、廃棄される建設副産物の焼却や埋立に伴うものとなっている。

建設リサイクルを推進することで、焼却・埋立に伴うGHG排出量を削減でき、カーボンニュートラルの実現に貢献できる。カーボンニュートラルを実現するためには、原材料調達から解体・廃棄までの全てのプロセスにおけるGHG排出量を抑制する必要がある。

